

道徳科 「自己の（人間としての）生き方についての考えを深める」ポイント

道徳性を養うために行う道徳科の学習においては、道徳的価値の理解を自分との関わりで深めたり、自分自身の体験やそれに伴う感じ方や考え方などを確かに想起したりすることができるようにするなど、自己の（人間としての）生き方についての考えを深めることを意識して指導することが重要です。 ※（ ）内は中学校表記

指導例 小学校第3学年及び第4学年 C 規則の尊重 主題名 きまりを守る心 教材名「雨のバス停留所で」
ねらい：きまりやマナーが必要な理由を考え、進んでこれを守ろうとする態度を育てる。

◆道徳的価値の理解を自分との関わりで深める

- T：知らぬふりをして窓の外を見ているお母さんは、なぜ黙っているのでしょうか。
- S1：いけないことだと気付かせたいからだと思います。
- T：よし子さんのしたことは、いけないことですか。
- S2：私はいけないことだと思います。バス停に並んでいる人はいなくても、よし子さんよりも先に雨宿りをして待ってる人がいるからです。
- T：「先に雨宿りをして待っている人が優先」というきまりはありましたか。
- S3：はっきりとしたきまりがなくても、周りの人のことを考えて行動することが大切だと思います。
- S4：ぼくは、時々廊下を走ってしまうけれど、けがをさせないよう、ぶつからないように気を付けているよ。
- S2：ぶつからなくても、周りの人は嫌な気持ちになっていると思うし、きまりは守るべきだと思います。
- S4：（そうか…）
- T：みんなはどう思いますか。きまりやマナーはあった方がよいと思いますか。
- S1：私はあったほうがよいと思います。きまりやマナーがあると安心だし、守ることでけんかも起きず、みんな気持ちよく過ごすことができると思うからです。
- S4：（きまりがあるから安心して、どういうことかな…）



他者の多様な感じ方や考え方にふれることで身近な集団の中の自分の特徴などを知り、伸ばしたい自己を深く見つめることができるようになります。

- T：お母さんの横顔を見ながら、よし子さんはどんなことを考えはじめたのでしょうか。（中心的な発問）
- S3：周りの人のことを考えないで行動してしまったことを反省していると思います。
- S2：これからは、自分勝手な行動をしないで、きまりやマナーを守っていこうと考えていると思います。
- ## ◆自分自身の体験やそれに伴う感じ方や考え方などを確かに想起する
- T：きまりやマナーなどについて、普段の生活で守ってよかったことや守れなかったことについて振り返り、考えたことを整理しましょう。



S3：私は交通ルールをしっかりと守って登下校しています。みんながきまりを守ることで、お互い気持ちよく生活できるのだと思います。また、きまりはなくても、マナーを守ることも大切だと思いました。



S4：ぼくは、きまりを守れないことがあります。でも、きまりは自分たちを守るもので、大切だということが分かりました。これからはきまりを守って、周りの人のことも考えて生活していきたいです。

※自己を見つめさせる時間を、十分に確保することが大切です。



これからの生き方の課題を考え、それを自己の生き方として実現していこうとする思いや願いを深めることができますようにします。